

温泉街(湯之島地区)

下呂はたくさん温泉があることで最もよく知られています。浴場のほとんどは、下呂大橋を中心とし、飛騨川を跨いだ温泉街のあちこちに位置しています。温泉街は、伝統的な旅館や足湯、土産物店、レストランで一杯です。どこかの旅館に宿泊しない観光客でも、旅館の浴場を有料で利用することができます。一方、頻繁に風呂に入る人なら、1日に最大3つの温泉に入ることができるパス（湯めぐり手形）を購入することができます。浴場は、石や木材など、様々な素材でできており、屋内にある場合もあれば、露天の場合もあります。源泉では84℃で、55℃にまで冷やされて町の浴場へと運ばれて来るアルカリ性のお湯は、敏感肌の浴場利用者に適しており、疼きや痛み、そしてストレスを緩和すると言われています。

無料の足湯と手湯も、温泉街に立ち並んでいます。足湯の見た目の美しさは様々で、伝統的なものもあれば、ビーナスの足湯のように、ヨーロッパ風のものもあります。合計9つの足湯があり、そのうちの7つは無料で利用できます。日中、観光客は、時に伝統的なローブ（浴衣）を着て、人気の GEROGERO みるくスタンドなどのお店で地元のスナックを楽しみながら、町を歩き回ることができます。町の温泉水に着想を得た入浴商品や、町の非公認マスコットのカエルを目玉にしたノベルティグッズなどを販売する土産物店もあります。スナックを食べ、買い物をする合間に、観光客は足湯に立ち寄り、休憩することができます。